

6616

TOIREX
Torex...Powerfully Small!

第23期（2018年3月期）第2四半期 決算説明資料

2017年11月16日

トレックス・セミコンダクター株式会社

世界は「アナログ」でできている

あらゆるフィールドで活躍するトレックスの電源IC



1

2018年3月期 第2四半期業績

2

2018年3月期 業績予想

3

中期経営計画

Appendix

2018年3月期 第2四半期業績

▶ フェニテックが好調で期初予想を大幅に上回る

▶ トレックスは、国内が不振で伸びず

▶ 車載・産業機器分野への販売は堅調を維持

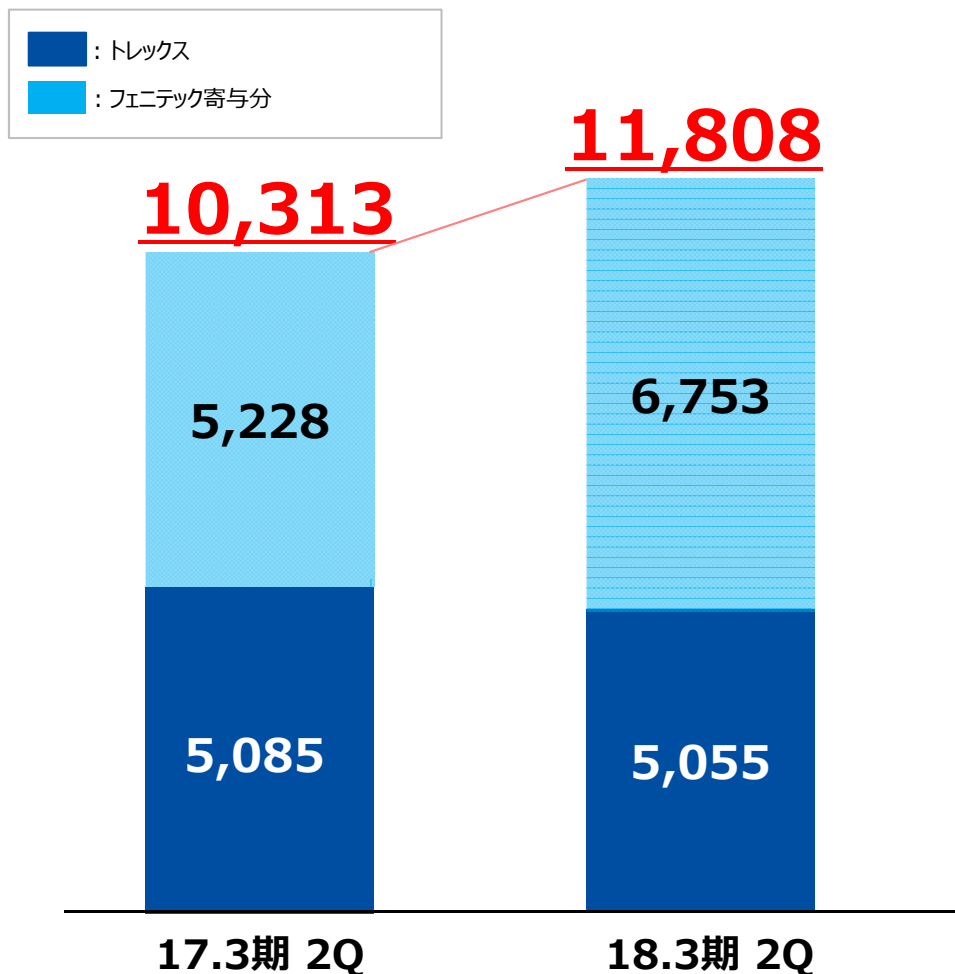
(単位：百万円)

科目	17.3期 2Q実績	18.3期 2Q実績	対前年同期比 増減率	18.3期 2Q予想	対予想比 増減率
売上高	10,313	11,808	14.5%	11,100	6.4%
営業利益	387	1,090	181.6%	600	81.7%
営業利益率	3.8%	9.2%	5.4Pt	5.4%	3.8Pt
経常利益	▲257	1,107	-	550	101.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (*1)	2,332	501	▲78.5%	280	78.9%
EPS (円)	234.87	55.41	▲76.4%	31.04	78.5%
海外売上高比率 (*2)	67.8%	71.6%	3.8Pt	-	-
平均為替レート (1\$=)	¥106.4	¥111.4	-	-	-
減価償却費	528	449	▲15.0%	-	-
設備投資	680	354	▲47.9%	-	-

(*1) 2017年3月期2Qは、フェニテック子会社化等による特別利益が発生し大きな利益となりました。

(*2) 海外売上高比率：外貨建て売上比率

(単位：百万円)



➤ トレックス

- 国内販売が伸びず減収
- 重点分野（産・車）は堅調に推移
- PCや家電等の低調が続く

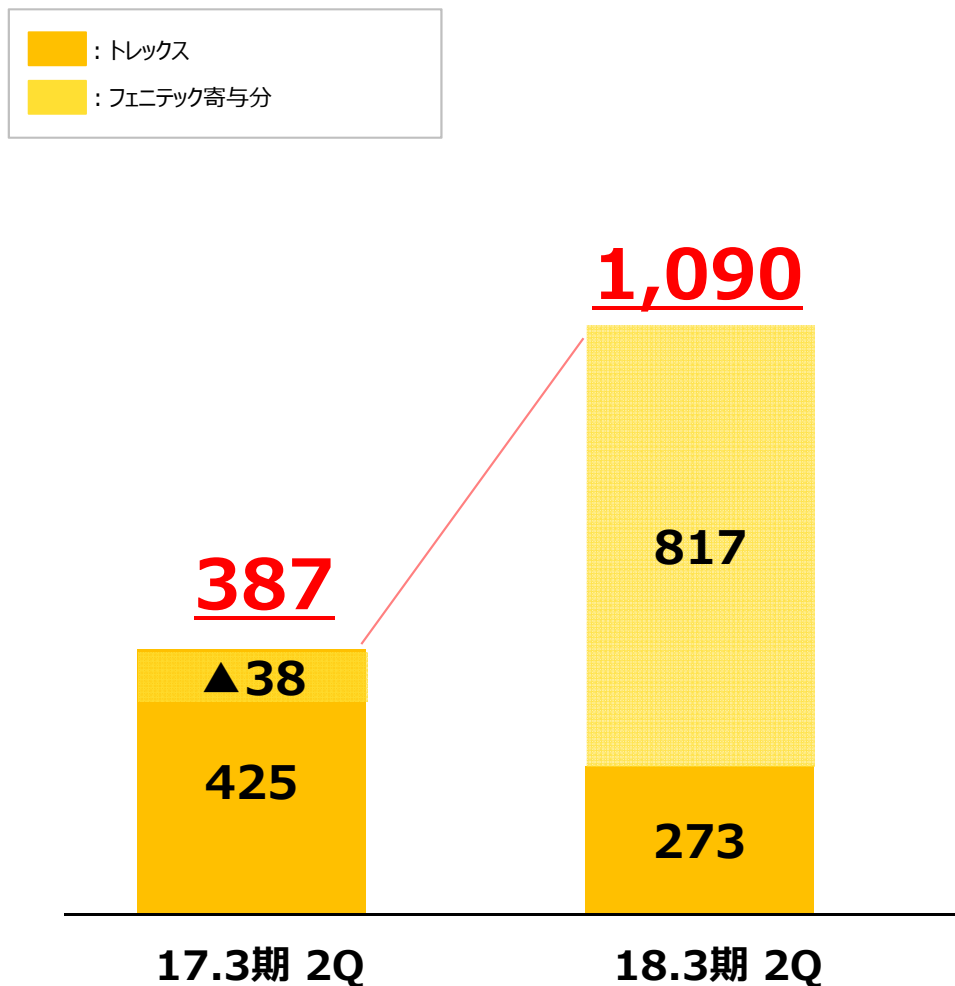
➤ フェニテック

- 各地域で受注が継続して好調
- ディスクリートが好調

(単位：百万円)

	17.3期 2Q実績	18.3期 2Q実績	対前年同期比増減率
売上高	10,313	11,808	14.5%

(単位：百万円)



トレックス

- 国内販売の不振が影響
- 開発費の増加、評価損の発生等により減益

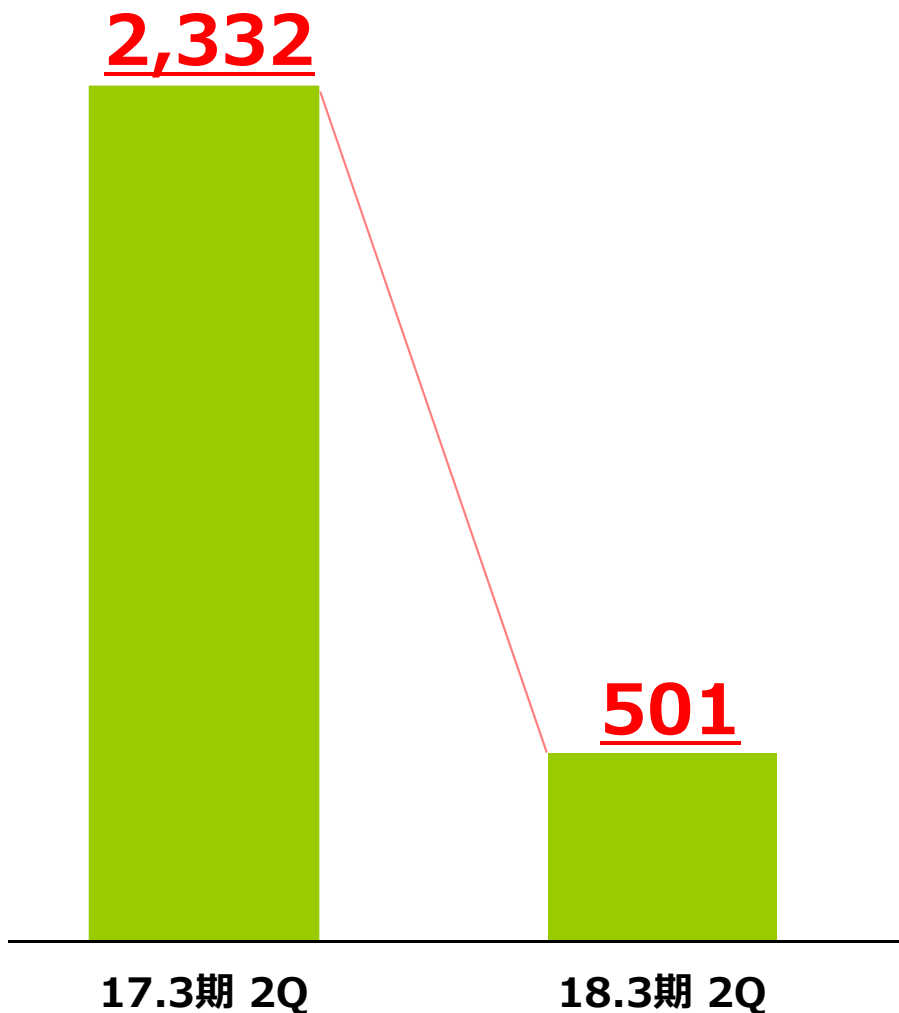
フェニテック

- 各地域での受注好調による増収増益でアップ
- 北米以外も堅調

(単位：百万円)

	17.3期 2Q実績	18.3期 2Q実績	対前年同期比増減率
営業利益	387	1,090	181.6%

(単位：百万円)



2017年3月期2Qは、フェニテック子会社化等による特別利益が発生し大きな利益となったが、あくまで一時利益であり、2018年3月期2Qは、前年の特別利益を除けば実質増益。

(単位：百万円)

	17.3期 2Q実績	18.3期 2Q実績	対前年同期比増減率
四半期純利益	2,332	501	▲78.5%

(単位：百万円)

科目	17年3月期末	18.3期 2Q	対前期末増減
資産	25,209	25,301	91
負債	9,611	9,102	▲509
純資産	15,597	16,198	600

＜参考＞ キャッシュ・フロー関連指標の推移

科目	17年3月期末	18.3期 2Q	対前期末増減
有利子負債	6,222	5,706	▲516
自己資本比率	45.3%	46.5%	1.3pt
D/Eレシオ	0.56	0.49	▲0.03

トレックス／フェニテック 各単体



- 主に産業機器、車載機器向けの売上が堅調に推移しました。

日本

- 産業機器分野は堅調に推移
- デジタル家電、その他民生品が低調

アジア

- 産業機器、デジタル家電が好調
- 低価格帯への需用が強く、価格競争が激しい地域

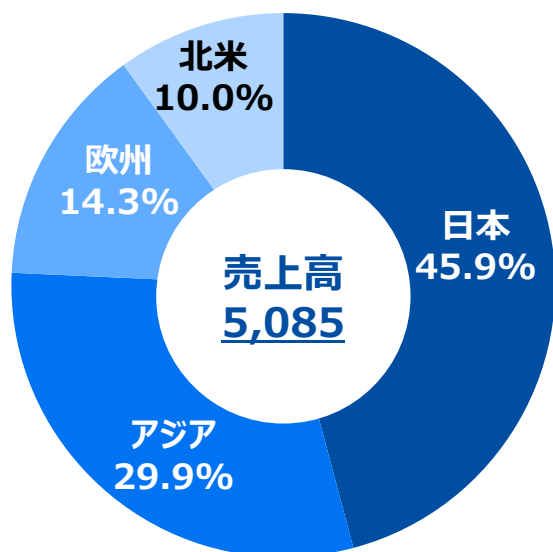
欧州

- 産業機器、家電分野が好調
- 今後車載ビジネスに力を入れていく

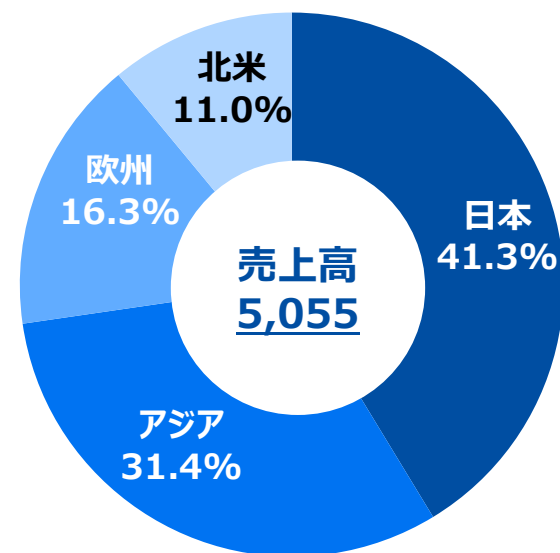
北米

- 産業機器、家電分野が低調だが、デザインベースの売上は堅調
- 特定の顧客の動向の影響を受けやすい

2018年3月期 第2四半期業績 ～地域別売上高（トレックス）



17.3期2Q実績



18.3期2Q実績

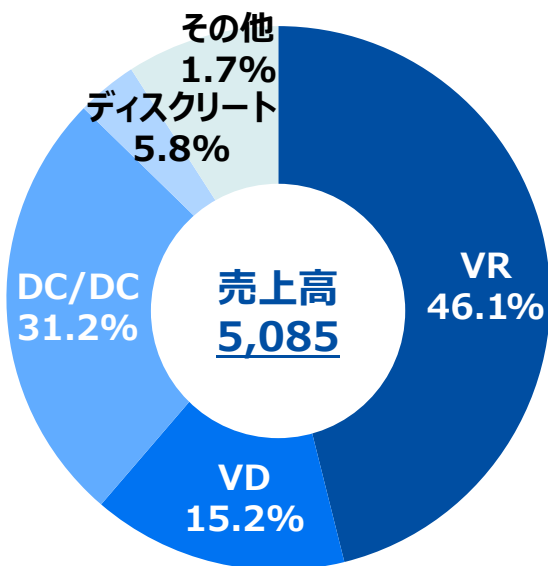
(単位：百万円)

地域 (D-in)	17.3期 2Q		18.3期 2Q		対前年同期比 増減率
	D-in 売上高	構成比	D-in 売上高	構成比	
日本	2,332	45.9%	2,086	41.3%	▲10.6%
アジア	1,518	29.9%	1,585	31.4%	4.4%
欧州	727	14.3%	825	16.3%	13.6%
北米	506	10.0%	556	11.0%	9.9%
平均為替レート (1\$=)	106.4円		111.4円		—

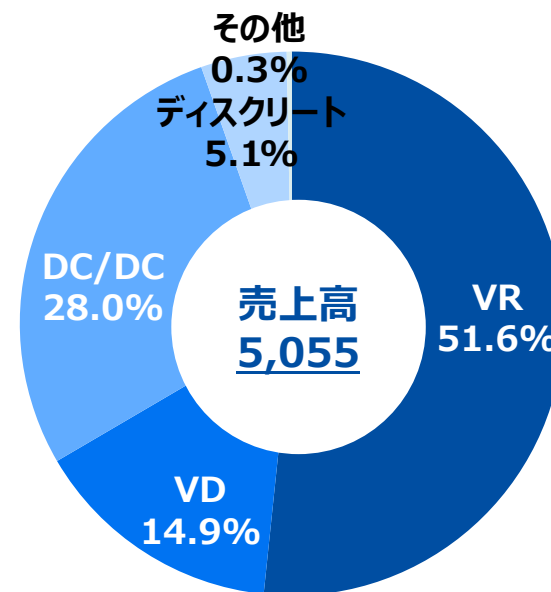
D-in 売上高：デザイン・イン・ベース売上高。当社の製品を搭載した製品が企画・設計され、実質的に受注を獲得した地域をベースとした売上高

2018年3月期 第2四半期業績 ～品種別売上高（トレックス）

TOIREX



17.3期2Q実績



18.3期2Q実績

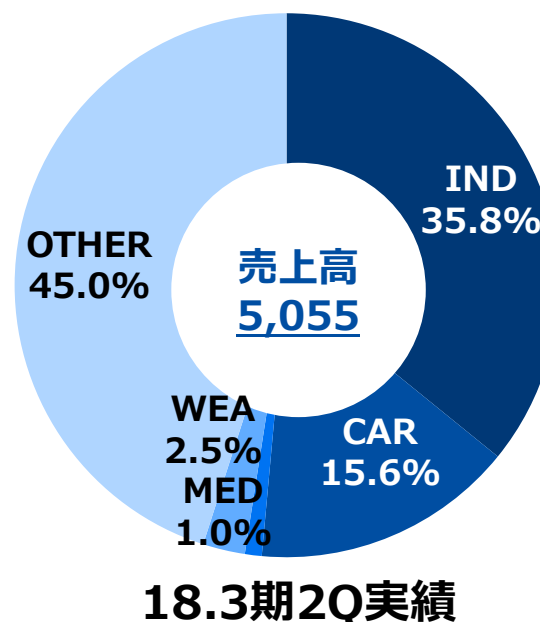
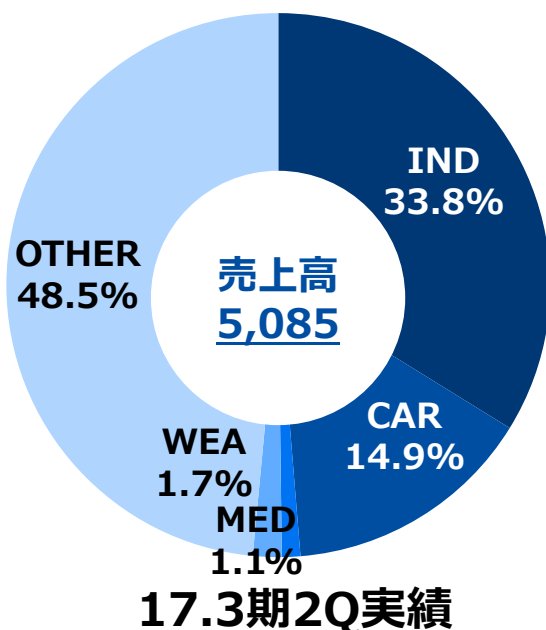
(単位：百万円)

品種	17.3期 2Q		18.3期 2Q		対前年同期比 増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
VR	2,345	46.1%	2,606	51.6%	11.1%
VD	773	15.2%	754	14.9%	▲2.4%
DC/DC	1,584	31.2%	1,417	28.0%	▲10.5%
ディスクリート	294	5.8%	259	5.1%	▲12.0%
その他	86	1.7%	16	0.3%	▲80.8%

※今年度より、その他に分類される区分を変更しております。前年度も今年度の基準で再集計しました。

2018年3月期 第2四半期業績 ～アプリケーション別売上高（トレックス）：参考値

TOIREX



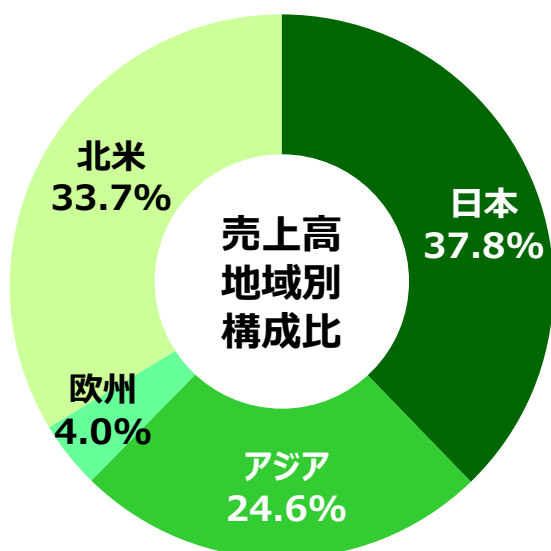
(単位：百万円)

アプリケーション	17.3期 2Q		18.3期 2Q		対前年同期比 増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
IND 産業機器	1,717	33.8%	1,809	35.8%	5.4%
CAR 車載機器	759	14.9%	791	15.6%	4.2%
MED 医療機器	54	1.1%	50	1.0%	▲7.4%
WEA ウェアラブル機器	85	1.7%	126	2.5%	48.2%
OTHER その他機器	2,468	48.5%	2,277	45.0%	▲7.7%

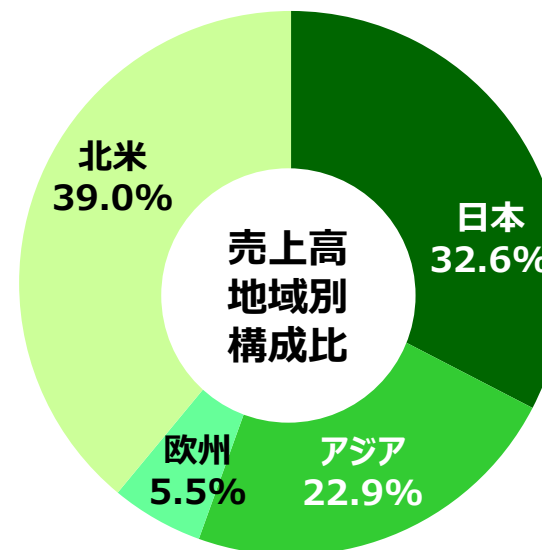
※注：アプリケーションの分類は変更することがあります。

2018年3月期 第2四半期業績 ～地域別売上高（フェニテック）

PHENITEC
SEMICONDUCTOR



17.3期2Q実績



18.3期2Q実績

※ 顧客の所在地別に区分しています。

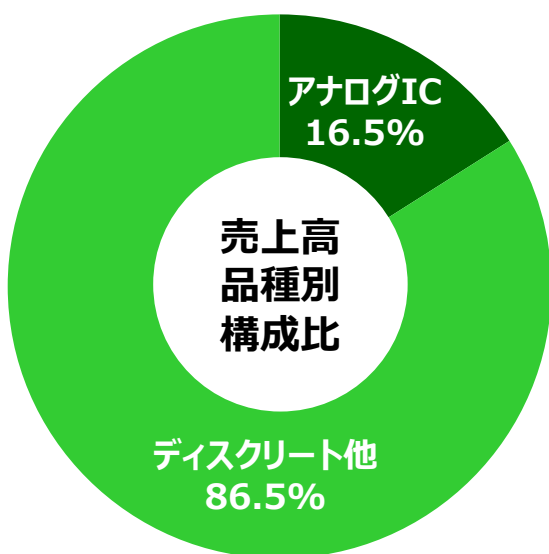
(単位：百万円)

地域（顧客）	17.3期 2Q		18.3期 2Q		対前年同期比 増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
日本	2,212	37.8%	2,450	32.6%	10.8%
アジア	1,440	24.6%	1,723	22.9%	19.7%
欧州	232	4.0%	412	5.5%	77.6%
北米	1,970	33.7%	2,935	39.0%	49.0%
平均為替レート (1\$=)	106.4円		111.4円		

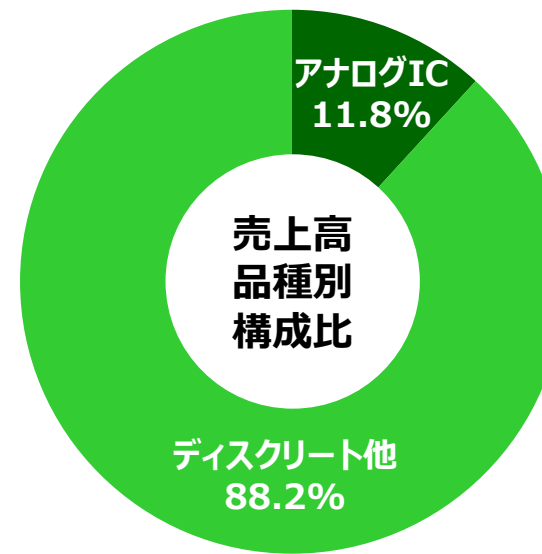
※注：日本には、トレックス・セミコンダクター向けの内部取引分を含む

2018年3月期 第2四半期業績 ～品種別売上高（フェニテック）

PHENITEC
SEMICONDUCTOR



17.3期2Q実績



18.3期2Q実績

(単位：百万円)

品種	17.3期 2Q		18.3期 2Q		対前年同期比 増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
アナログIC ※1	965	16.5%	885	11.8%	▲8.3%
ディスクリート他 ※2	4,890	86.5%	6,635	88.2%	35.7%

※ 1 バイポーラ, CMOSを含む

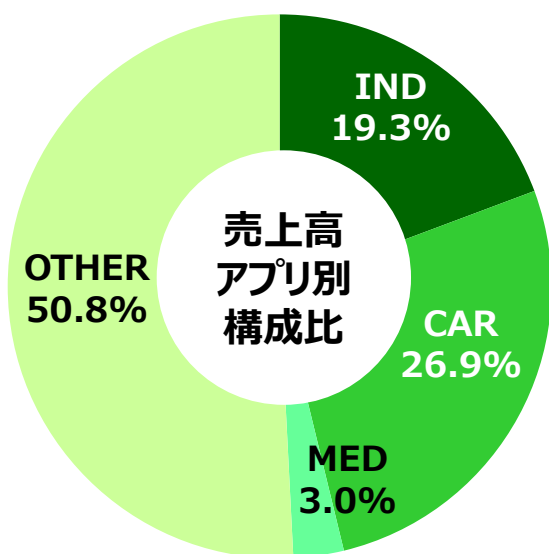
※ 2 ダイオード, IGBT, SJ-MOS, PMOS, その他ディスクリート等を含む

※注：トレックス・セミコンダクター向けの内部取引分を含む

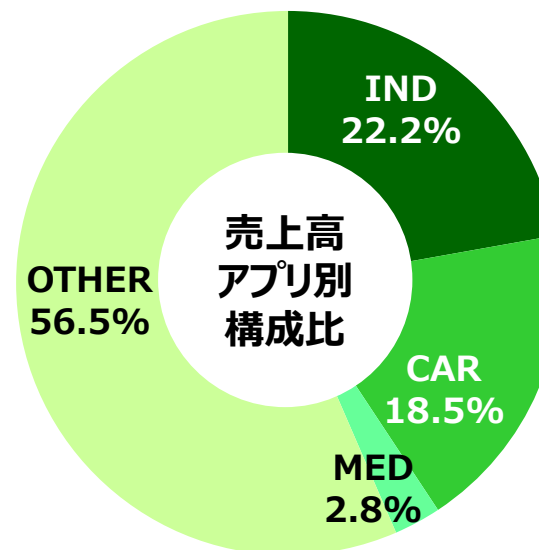
2018年3月期 第2四半期業績

～アプリケーション別売上高（フェニテック）：参考値

PHENITEC
SEMICONDUCTOR



17.3期2Q実績



18.3期2Q実績

(単位：百万円)

アプリケーション	17.3期 2Q		18.3期 2Q		対前年同期比 増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
IND 産業機器	1,129	19.3%	1,668	22.2%	47.7%
CAR 車載機器	1,576	26.9%	1,391	18.5%	▲11.7%
MED 医療機器	178	3.0%	213	2.8%	19.7%
OTHER その他機器	2,971	50.8%	4,249	56.5%	43.0%

※注：アプリケーションの分類は変更することがあります。

トレックス・セミコンダクター向けの内部取引分を含む

2018年3月期 業績予想

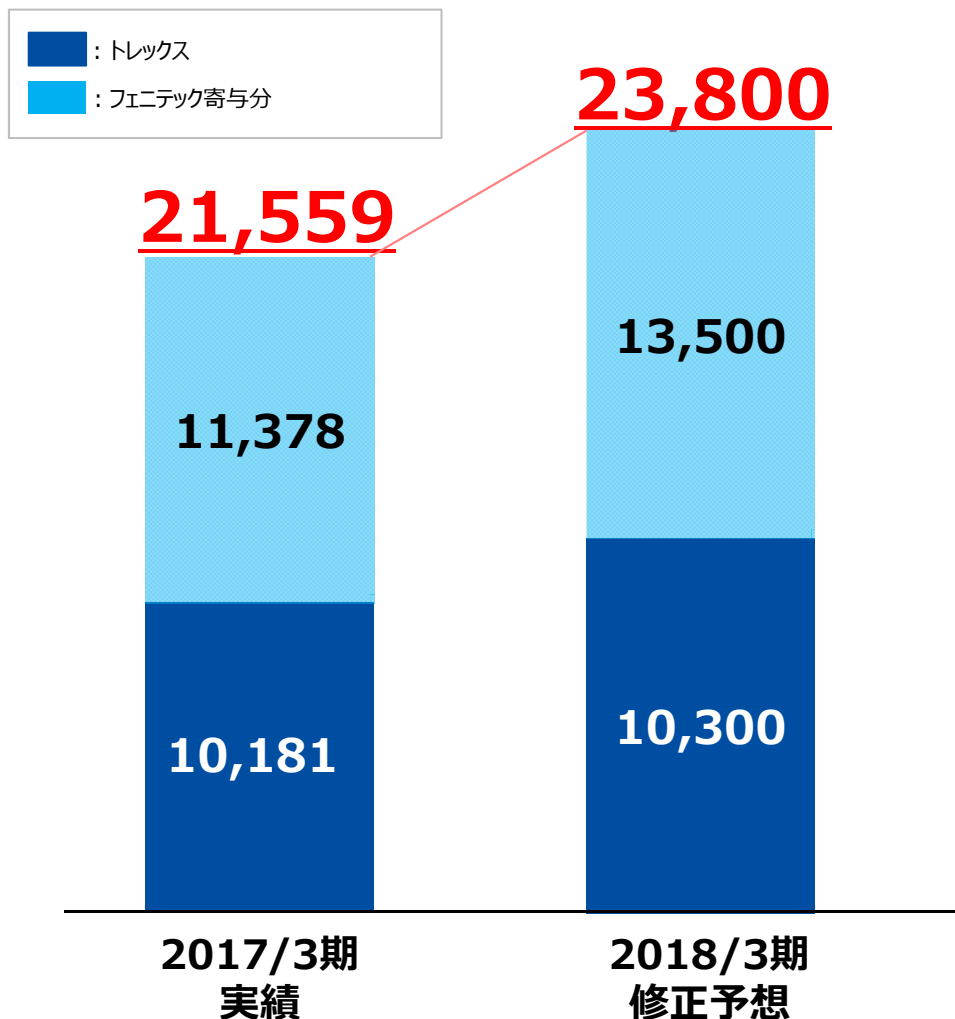
(単位：百万円)

科目	17.3期通期 実績	18.3期通期 修正予想	対前年同期比 増減率	18.3期通期 当初予想	対当初予想比 増減率
売上高	21,559	23,800	10.4%	22,300	6.7%
営業利益	1,251	2,000	59.9%	1,400	42.9%
営業利益率	5.8%	8.4%	2.6Pt	6.3%	2.1Pt
経常利益	905	1,900	109.8%	1,300	46.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (*1)	2,930	900	▲69.3%	750	20.0%
EPS (円)	302.79	99.79	▲67.0%	83.16	20.0%
海外売上高比率 (*2)	71.9%	72.4%	0.5Pt	67.6%	4.8Pt
平均為替レート (1\$=)	¥108.9	¥112.0	-	¥110.0	-
減価償却費	1,219	1,050	▲13.9%	1,131	▲7.2%
設備投資	988	1,257	27.2%	1,257	-

(*1) 2017年3月期は、フェニテック子会社化等による特別利益が発生し大きな利益となりました。

(*2) 海外売上高比率：外貨建て売上比率

(単位：百万円)



➤ トレックス

- 重点分野（産・車）は堅調に推移する見通し
- 国内販売は後半に回復の見通し
- 海外は堅調に推移

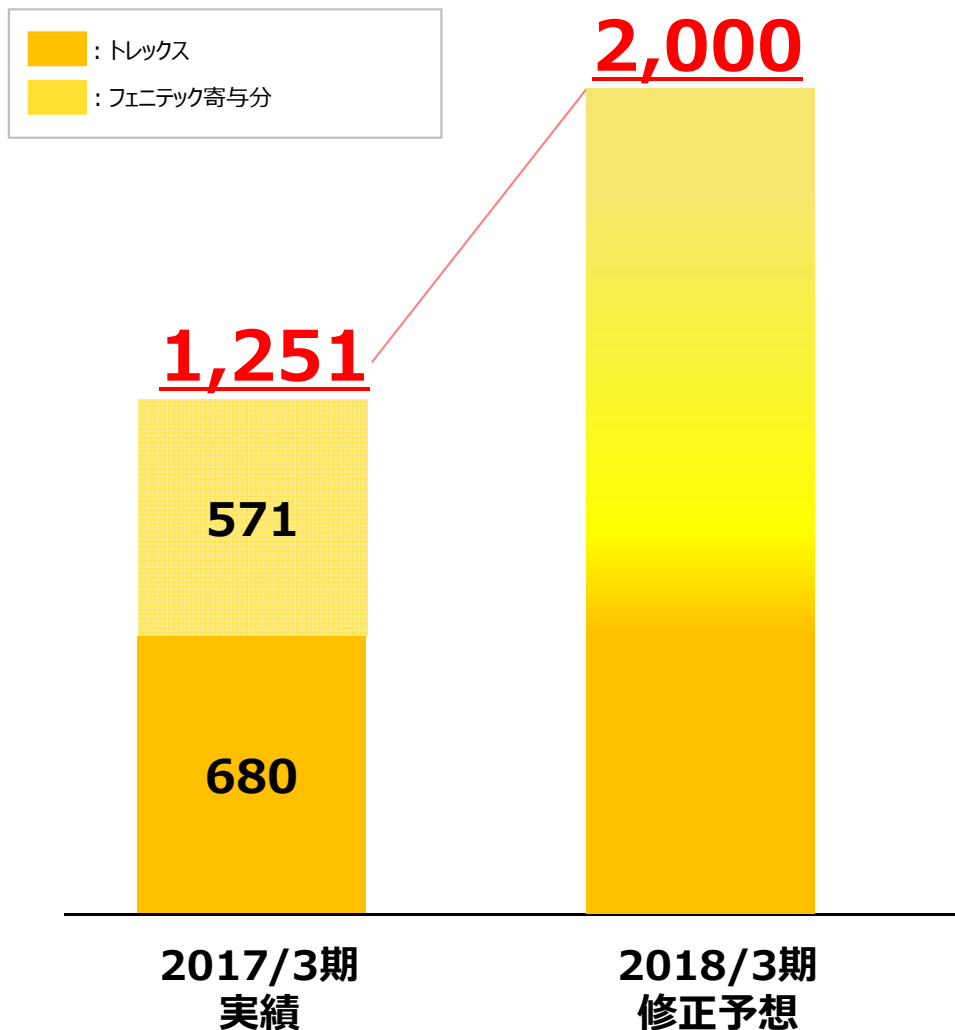
➤ フェニテック

- 上期の好調な受注状況が、下期も継続する見通し
- ディスクリートの好調継続

(単位：百万円)

	2017年3月期 実績	2018年3月期 通期修正予想	対前年増減率
売上高	21,559	23,800	10.4%

(単位：百万円)



➤ トレックス

- 高収益分野へのシフトを推進
- 高収益製品の販売を強化
- 下期は回復見込む

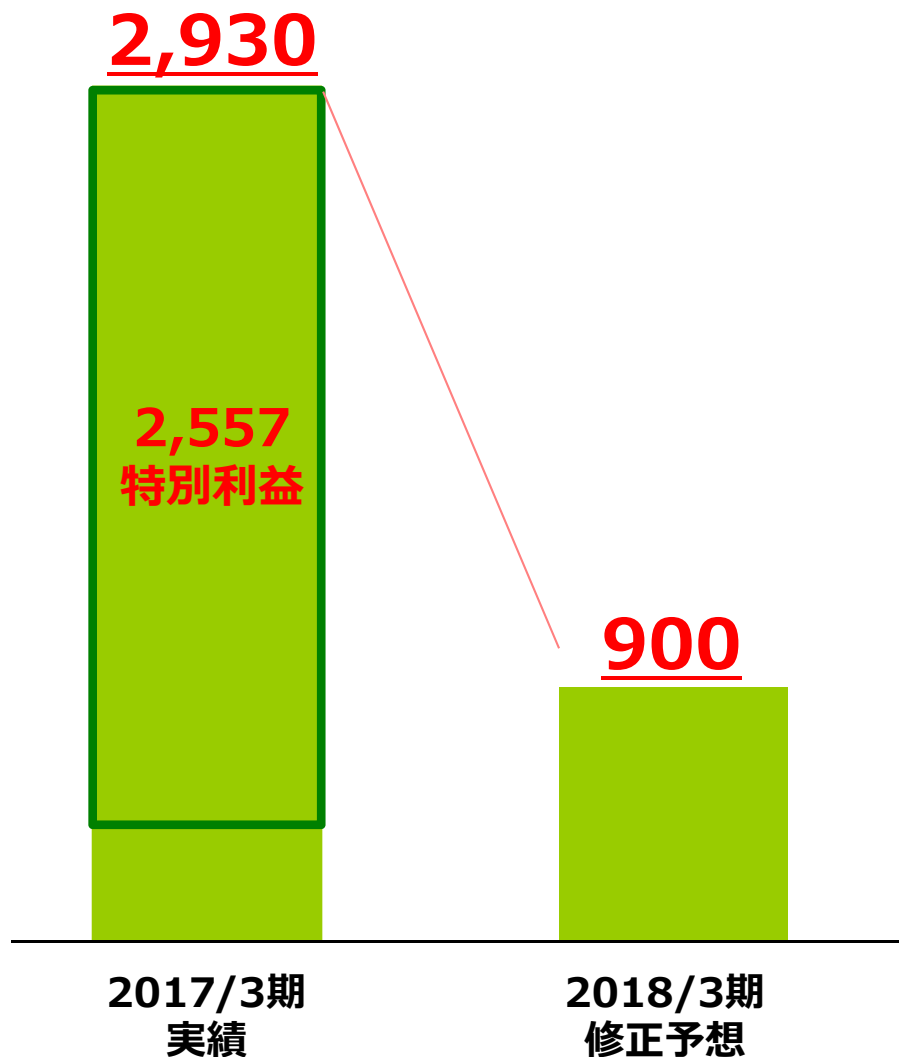
➤ フェニテック

- 受注回復による稼働率アップで収益性が向上
- 上期の好調継続で大幅増益見込み

(単位：百万円)

	2017年3月期 実績	2018年3月期 通期修正予想	対前年増減率
営業利益	1,251	2,000	59.9%

(単位：百万円)



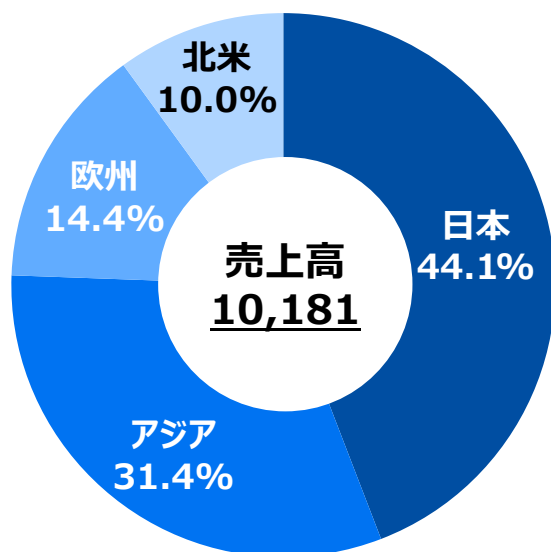
2017年3月期は、フェニテック子会社化等による特別利益が発生し大きな利益となったが、あくまで一時利益であり、2018年3月期は、売上増加による営業利益部分で実質、昨年度より増益を予想。

(単位：百万円)

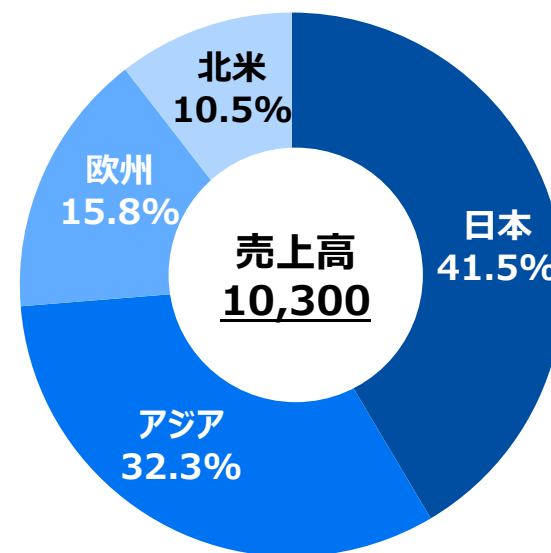
	2017年3月期 実績	2018年3月期 通期修正予想	対前年増減率
当期純利益	2,930	900	▲69.3%

2018年3月期 業績予想 内訳

2018年3月期 業績予想 ～地域別売上高（トレックス）



2017年3月期 実績



2018年3月期 修正予想

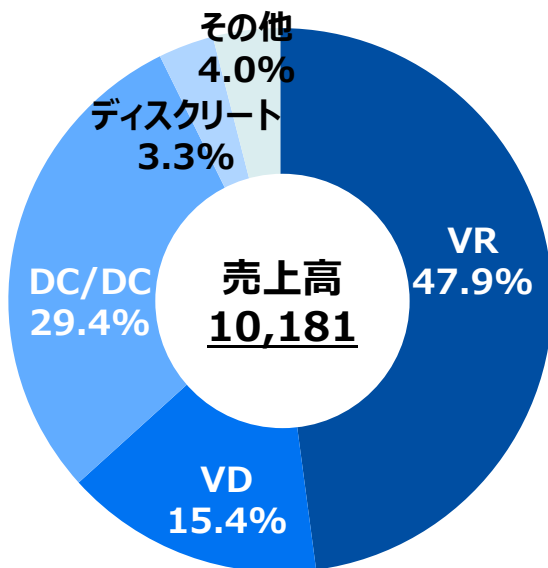
(単位：百万円)

地域 (D-in)	2017年3月期 実績		2018年3月期 修正予想		対前年 増減率
	D-in 売上高	構成比	D-in 売上高	構成比	
日本	4,489	44.1%	4,272	41.5%	▲4.8%
アジア	3,198	31.4%	3,324	32.3%	3.9%
欧州	1,471	14.4%	1,623	15.8%	10.3%
北米	1,022	10.0%	1,080	10.5%	5.7%
平均為替レート (1\$=)	108.9円		112.0円		—

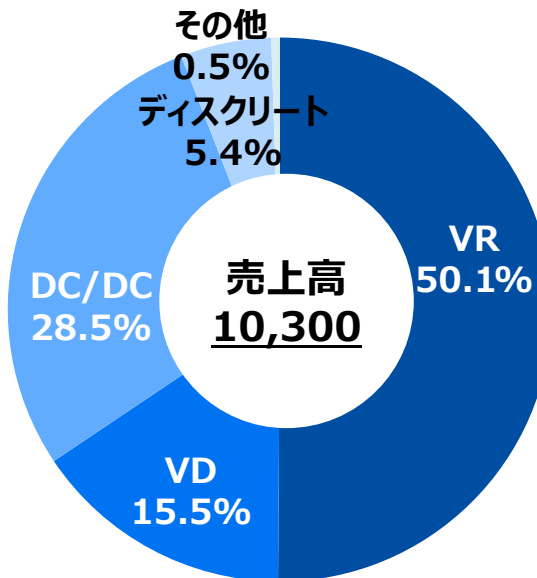
D-in 売上高：デザイン・イン・ベース売上高。当社の製品を搭載した製品が企画・設計され、実質的に受注を獲得した地域をベースとした売上高

2018年3月期 業績予想 ～品種別売上高（トレックス）

TOIREX



2017年3月期 実績



2018年3月期 修正予想

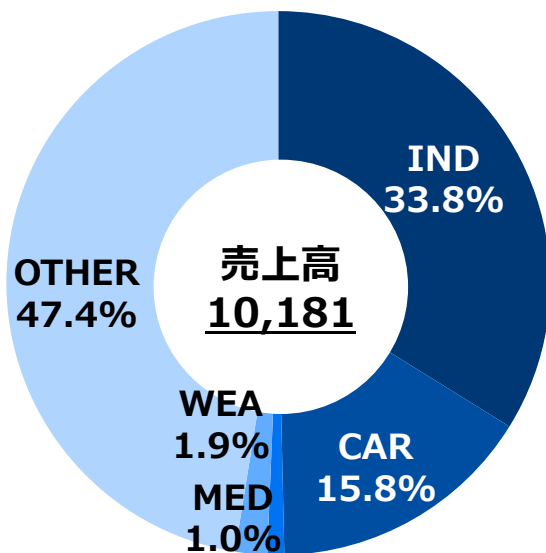
(単位：百万円)

品種	2017年3月期 実績		2018年3月期 修正予想		対前年 増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
VR	4,872	47.9%	5,160	50.1%	5.9%
VD	1,564	15.4%	1,598	15.5%	2.2%
DC/DC	2,997	29.4%	2,938	28.5%	▲2.0%
ディスクリート	536	5.3%	556	5.4%	3.7%
その他	210	2.1%	48	0.5%	▲77.1%

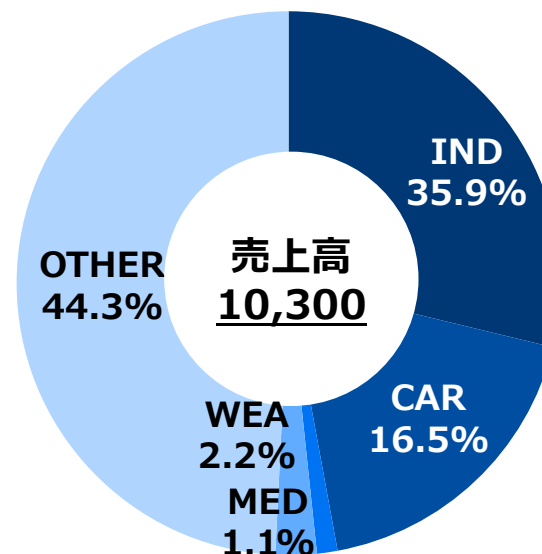
※今年度より、その他に分類される区分を変更しております。前年度も今年度の基準で再集計しました。

2018年3月期 業績予想 ～アプリケーション別売上高（トックス）：参考値

TOIREX



2017年3月期 実績



2018年3月期 修正予想

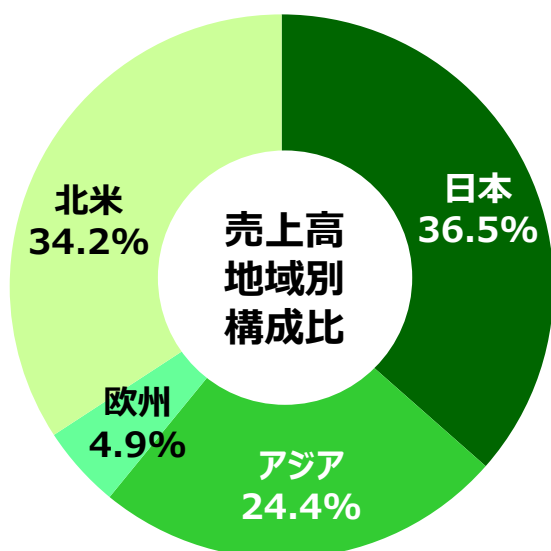
(単位：百万円)

アプリケーション		2017年3月期 実績		2018年3月期修正予想		対前年 増減率
		売上高	構成比	売上高	構成比	
IND	産業機器	3,444	33.8%	3,697	35.9%	7.3%
CAR	車載機器	1,608	15.8%	1,704	16.5%	6.0%
MED	医療機器	106	1.0%	110	1.1%	3.8%
WEA	ウェアラブル機器	197	1.9%	225	2.2%	14.2%
OTHER	その他機器	4,824	47.4%	4,564	44.3%	▲5.4%

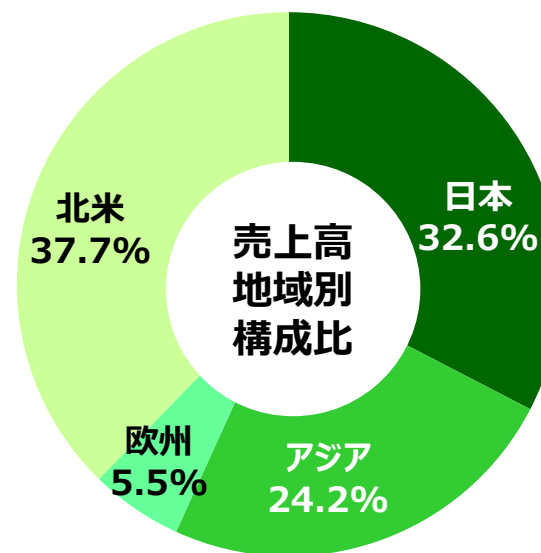
※注：アプリケーションの分類は変更することがあります。

2018年3月期 業績予想 ～地域別売上高（フェニテック）

PHENITEC
SEMICONDUCTOR



2017年3月期 実績



2018年3月期 予想

※ 顧客の所在地別に区分しています。

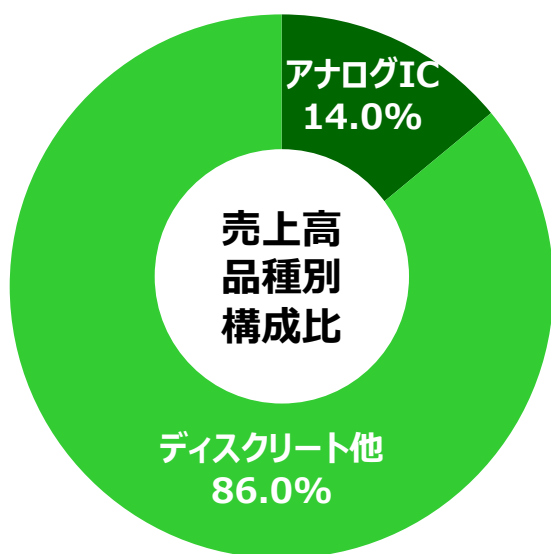
(単位：百万円)

地域（顧客）	2017年3月期 実績		2018年3月期 修正予想		対前年 増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
日本	4,690	36.5%	4,977	32.6%	6.1%
アジア	3,140	24.4%	3,690	24.2%	17.5%
欧州	630	4.9%	841	5.5%	33.5%
北米	4,390	34.2%	5,755	37.7%	31.1%
平均為替レート（1\$=）	108.9円		112.0円		-

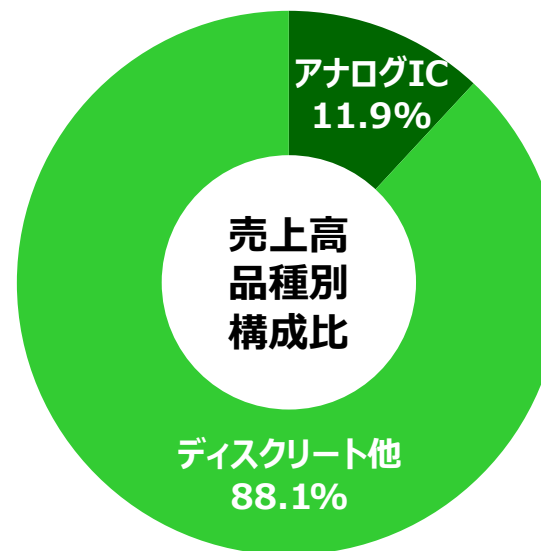
※注：日本には、トレックス・セミコンダクター向けの内部取引分を含む

2018年3月期 業績予想 ～品種別売上高（フェニテック）

PHENITEC
SEMICONDUCTOR



2017年3月期 実績



2018年3月期 予想

(単位：百万円)

品種	2017年3月期 実績		2018年3月期 修正予想		対前年 増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
アナログIC ※1	1,800	14.0%	1,811	11.9%	0.6%
ディスクリート他 ※2	11,050	86.0%	13,452	88.1%	21.7%

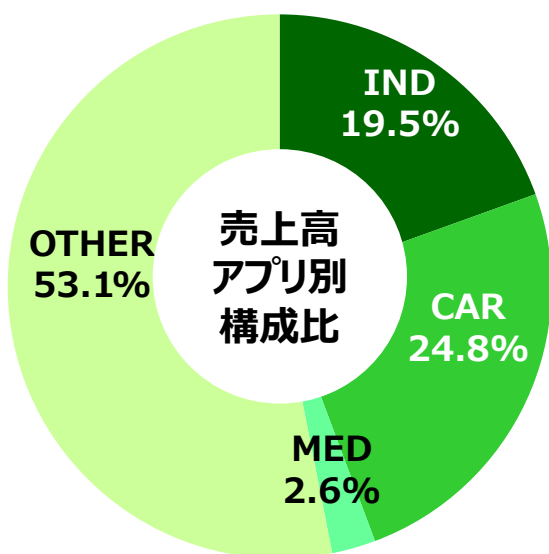
※1 バイポーラ, CMOSを含む

※2 ダイオード, IGBT, SJ-MOS, PMOS, その他ディスクリート等を含む

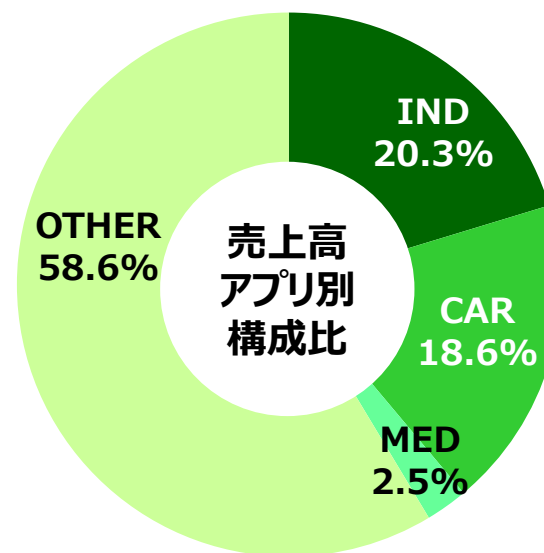
※注：トレックス・セミコンダクター向けの内部取引分を含む

2018年3月期 業績予想 ～アプリケーション別売上高（フェニテック）：参考値

PHENITEC
SEMICONDUCTOR



2017年3月期 実績



2018年3月期 予想

※注：アプリケーションの分類は変更することがあります。

(単位：百万円)

アプリケーション	2017年3月期 実績		2018年3月期 修正予想		対前年 増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
IND 産業機器	2,510	19.5%	3,095	20.3%	23.3%
CAR 車載機器	3,190	24.8%	2,839	18.6%	▲11.0%
MED 医療機器	330	2.6%	383	2.5%	16.1%
OTHER その他機器	6,820	53.1%	8,947	58.6%	31.2%

※注：トレックス・セミコンダクター向けの内部取引分を含む

中期経営計画

トレックスグループ 基本方針

- ・ トレックス・フェニテック個々の強み・付加価値を深掘り、強化し、ワールドワイド市場において両社が存在感を示す
- ・ 両社によるシナジーを発揮し、更なる成長を加速させることで、競争力と収益力の向上を実現する

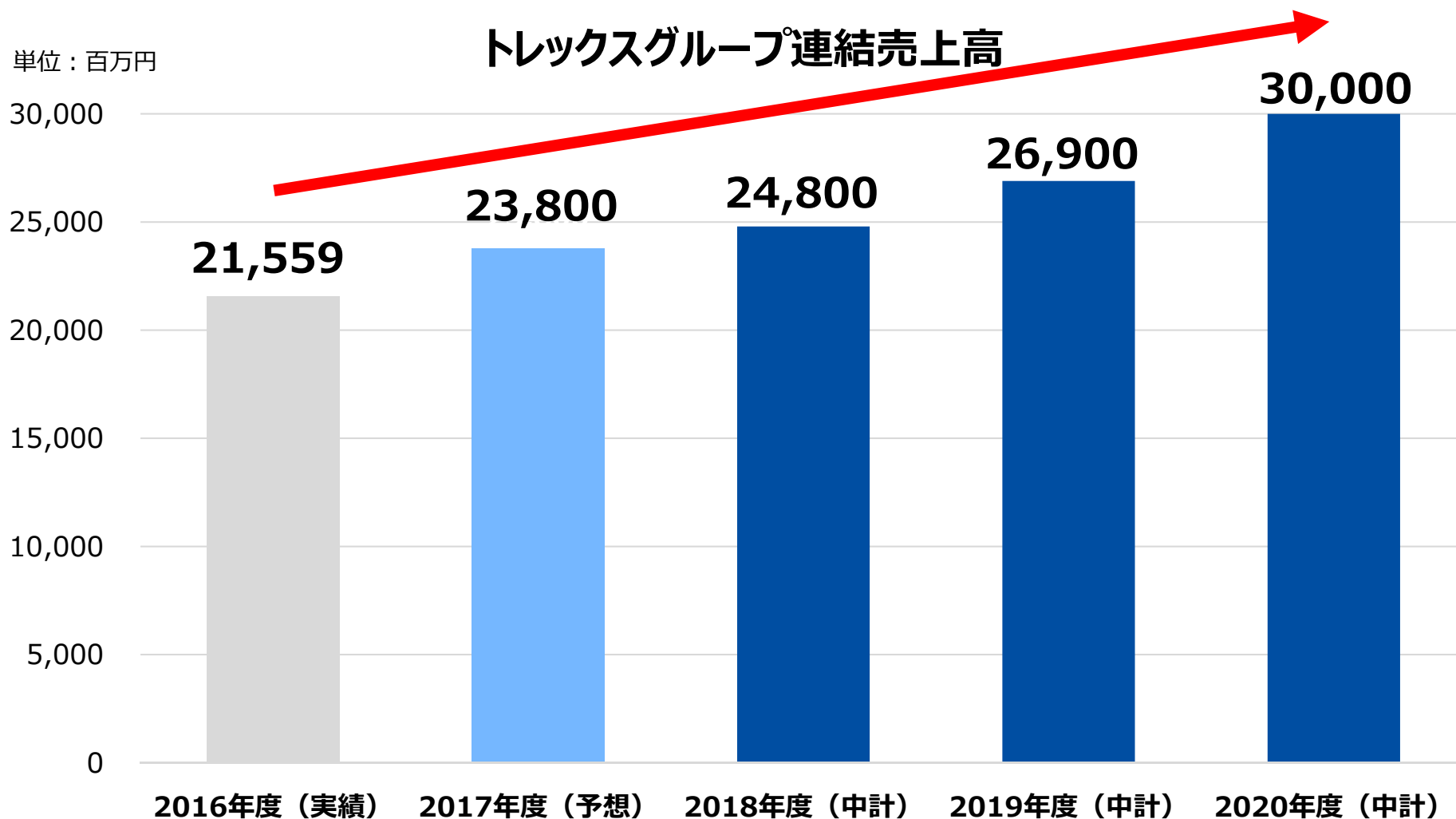
トレックスグループ 目標

2020年度

連結売上高：300億円（17年度比 約25%増）

営業利益：30億円（17年度比 約33%増）

中計3年間で約26%の成長

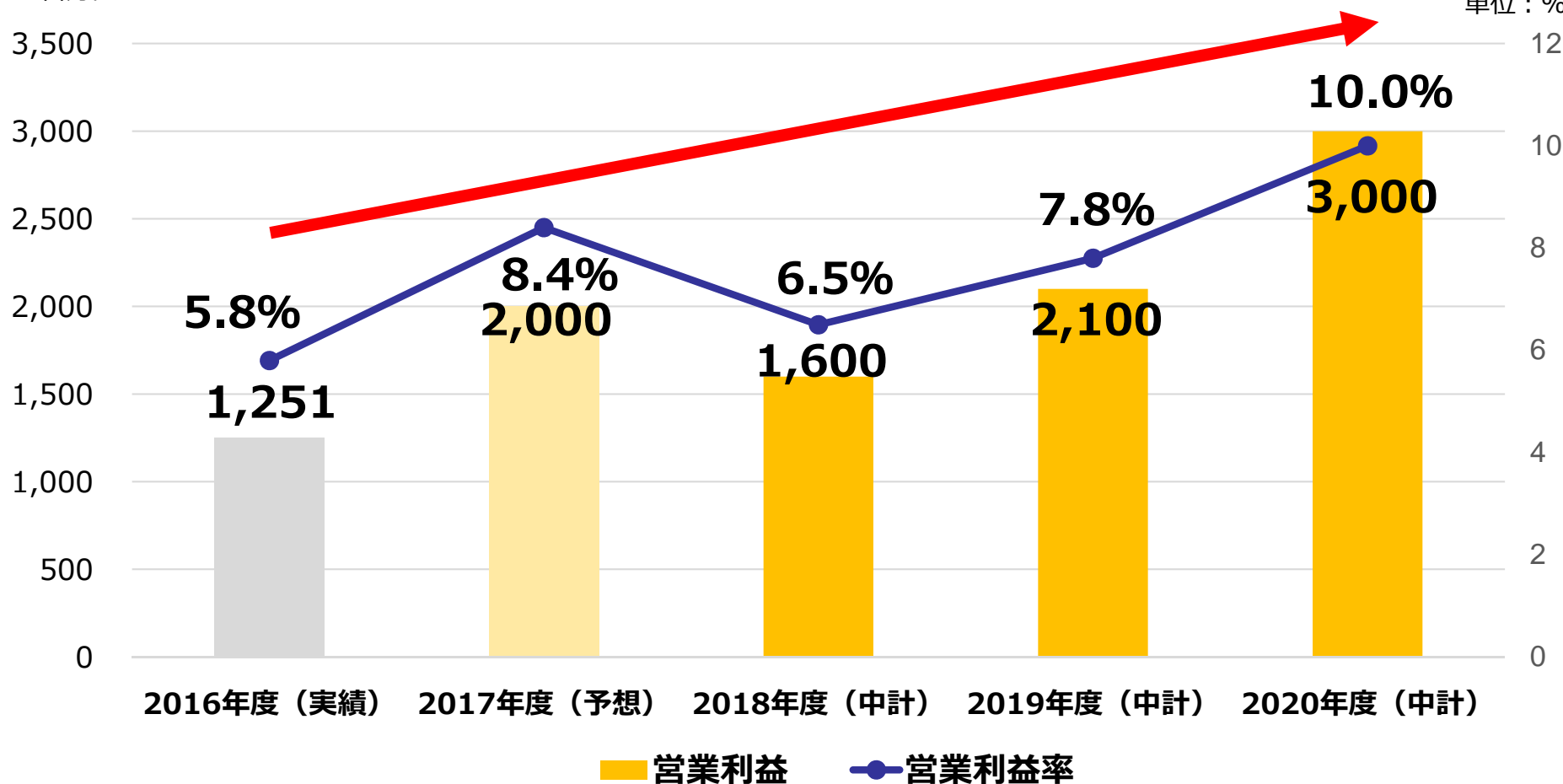


中計3年間で**50%増**、**営業利益率10%**

左軸：営業利益
単位：百万円

トレックスグループ連結営業利益

右軸：営業利益率
単位：%



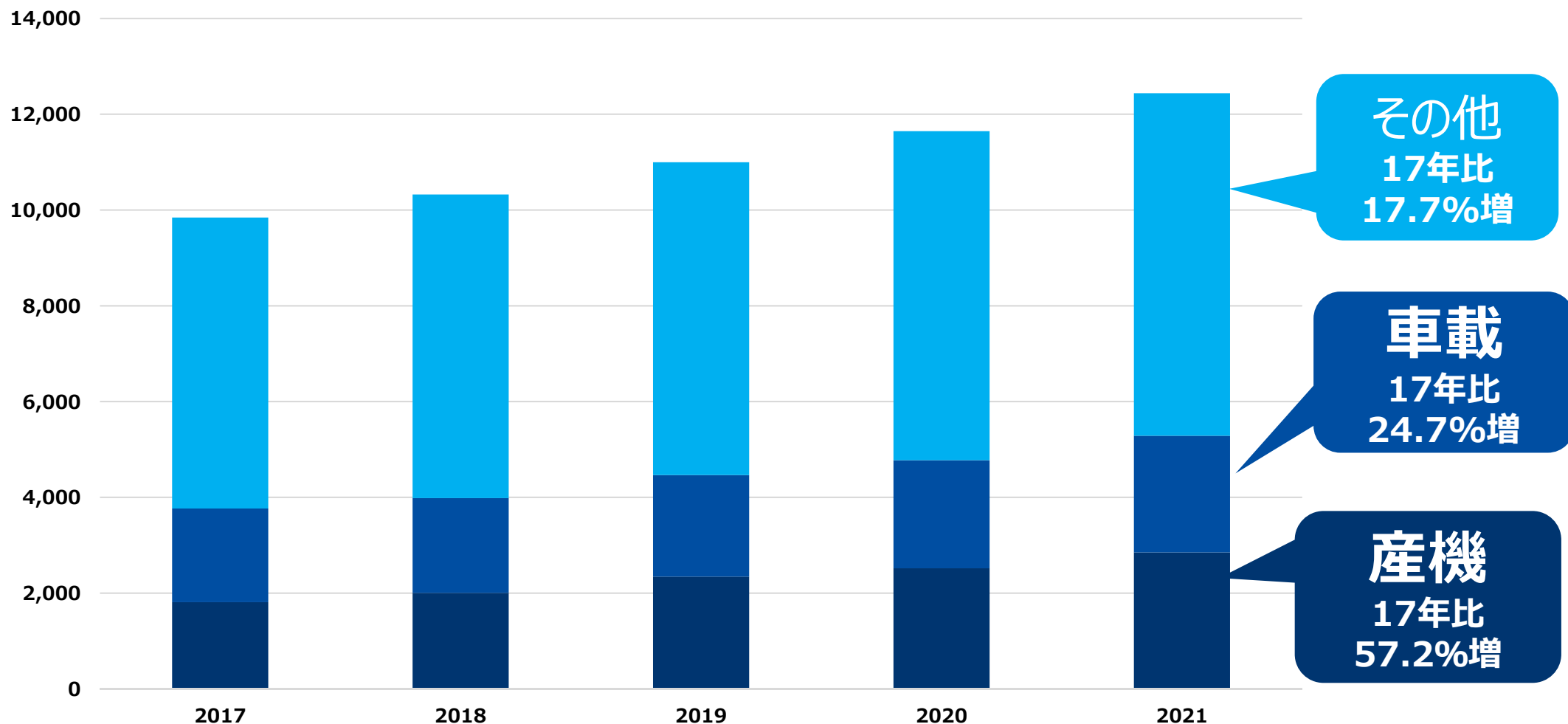
- ・**トレックスの強み、高付加価値（低消費・小型・低ノイズ等）をさらに引き上げる電源IC専用プロセスの構築**
- ・**高品質、低コストの実現**
新製品の企画段階から両社で製造方法、生産管理手法を含めた協力体制を構築し、開発リードタイムを縮小し、タイムリーにお客様へ製品を届ける
- ・**フェニテックの強みである長期・安定納入のノウハウを活用し、車載・産機のお客様に継続して製品を供給する体制を構築**
- ・**人材、組織の活発な交流による競争力・収益力の向上**
- ・**グループ企業の活用による、ワールドワイドでのフェニテックのビジネス拡大**

中期経営計画 トレックス・セミコンダクター

これからの電源IC市場は車載・産業機器分野において高い成長が期待されます。

世界の電源IC分野別市場規模推移

(単位：Millions USD)



【出典】IHS Global株式会社調べ（2017年）

重点市場（高収益分野）でのシェア向上

- ・高付加価値製品の投入
⇒超低消費電力、ナノアンペア、高耐圧、大電流、高効率、超小型・超薄型パッケージ、低ノイズ製品等
- ・車載・産機・医療市場でのシェアアップ
⇒高品質・高信頼性製品のラインアップ、車載対応製品の増加
⇒IOT市場に向けた超薄型、小型低消費電流製品の拡充
- ・FAE営業、リファレンスビジネスの強化

▶ ディスクリートビジネスの確立

- ・フェニテックとの共同開発によるシナジー
- ・同業他社とのアライアンス強化によるラインナップ^o拡充

▶ コーポレートガバナンス・I Rの強化

- ・C S R、E S Gへの取組み強化
- ・個人投資家向けI Rの強化、海外I Rの実施

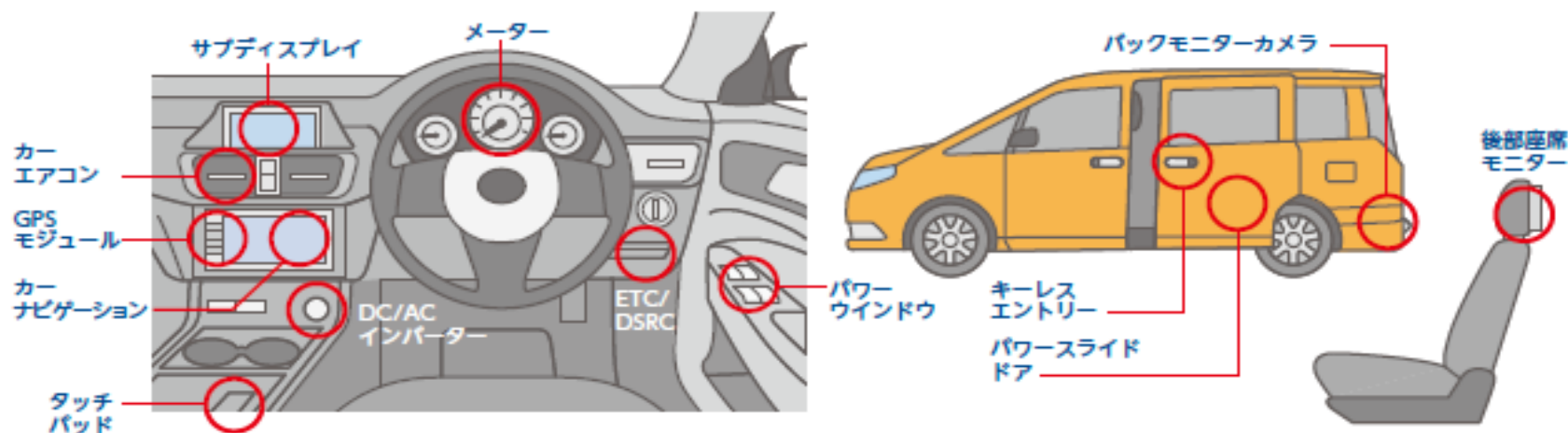
●車載向け製品のラインナップ拡充

- ①高耐圧・大電流・高温への対応
- ②新構造パッケージ製品の開発
- ③コイル一体型DC/DCコンバーターの投入

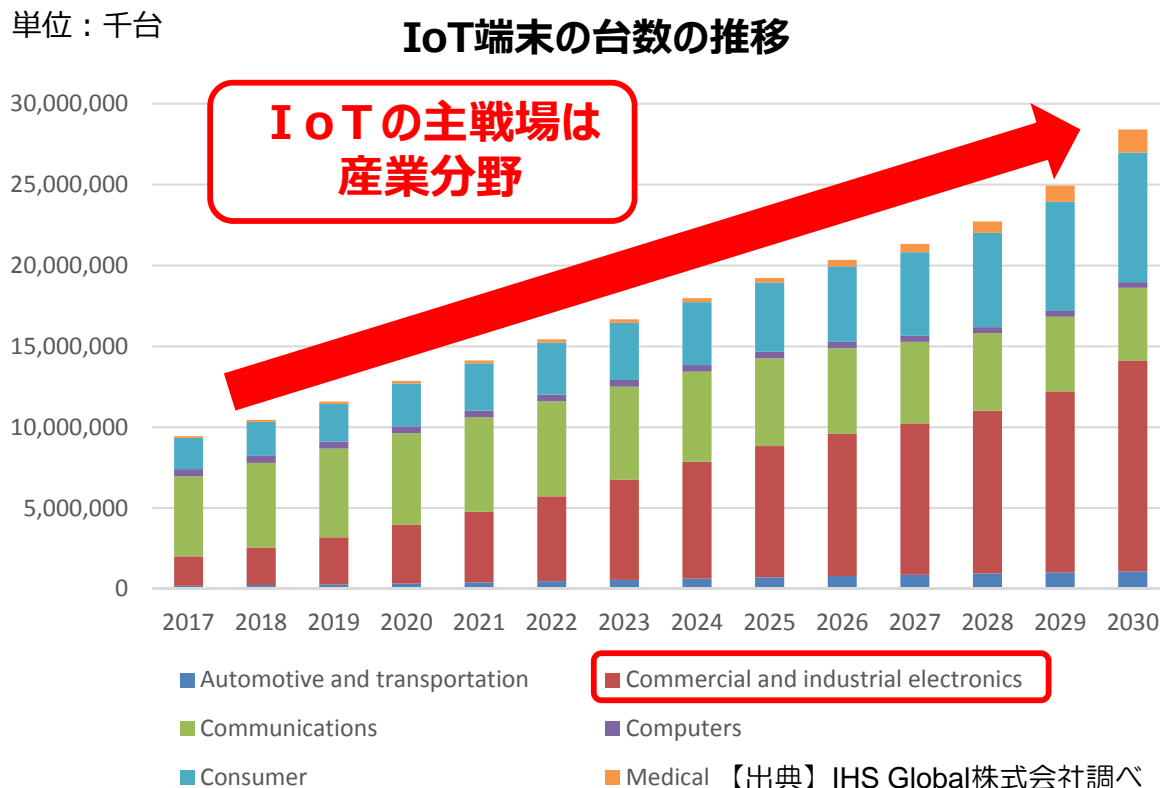
●ヨーロッパ、アメリカ市場でのビジネス拡大

●新たな分野への参入

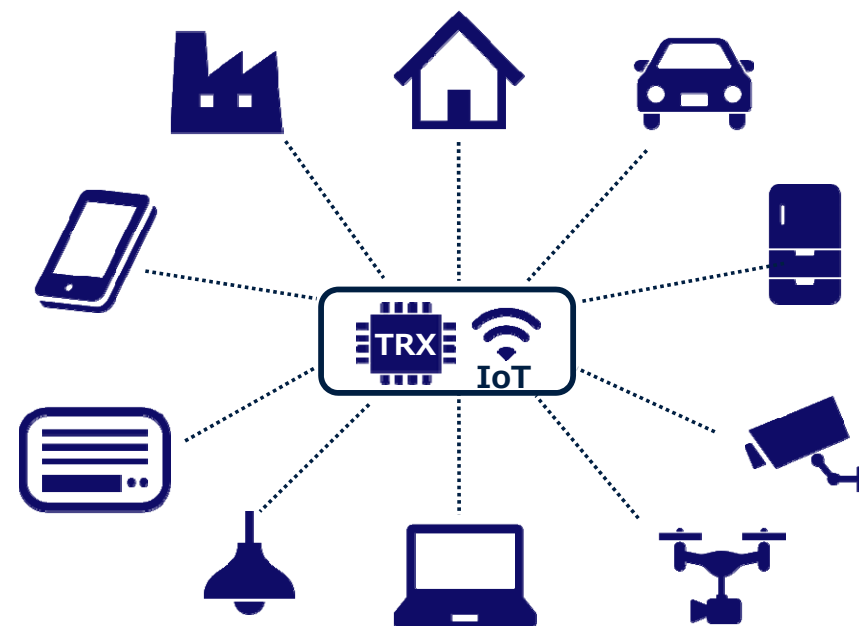
- ①ADAS（先進運転支援システム）用カメラの電源 I C
- ②レーダー等の電源 I C
- ③自動車関連企業との製品開発の協業促進

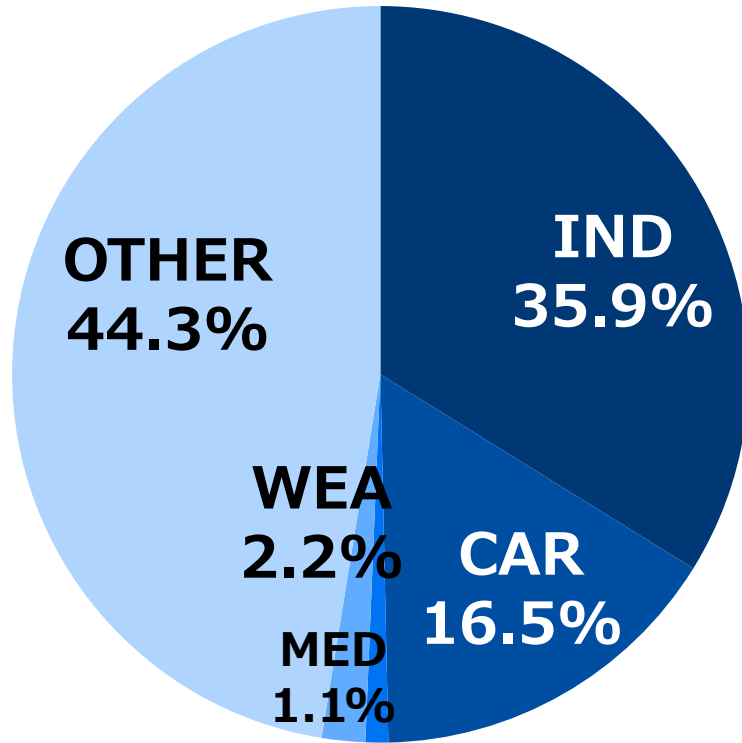


- 産業機器のネット接続が急速に進展し、IoTデバイスに搭載される電源ICが増加
- IoTデバイスに求められる小型・低消費電源は、当社の強みが活かせる市場
- XCL（コイル一体型DC/DC）、超薄型、小型低消費製品のラインナップ拡充



様々な機器とつながるIoT

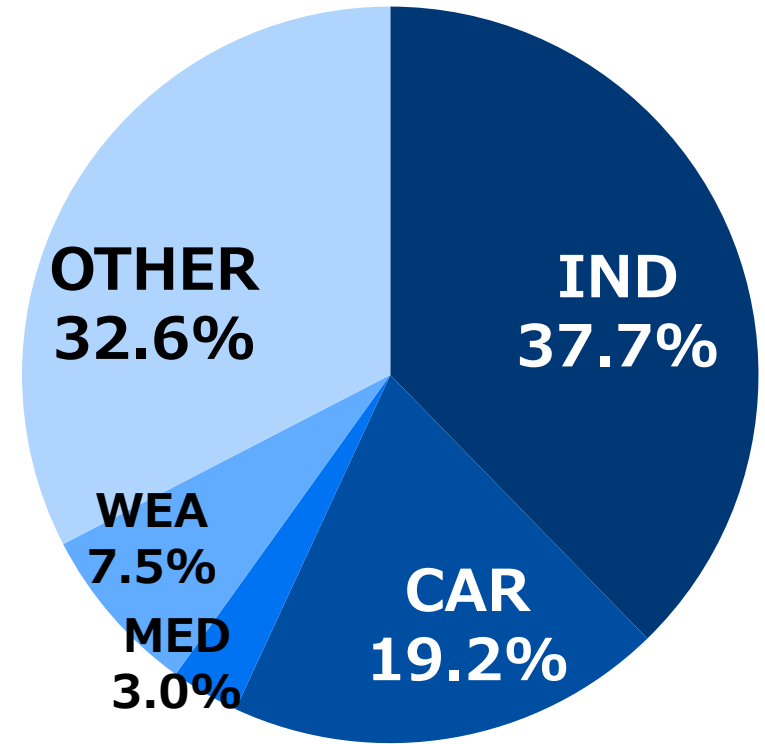




2017年度修正予想

産機 : 35.9%

車載 : 16.5%

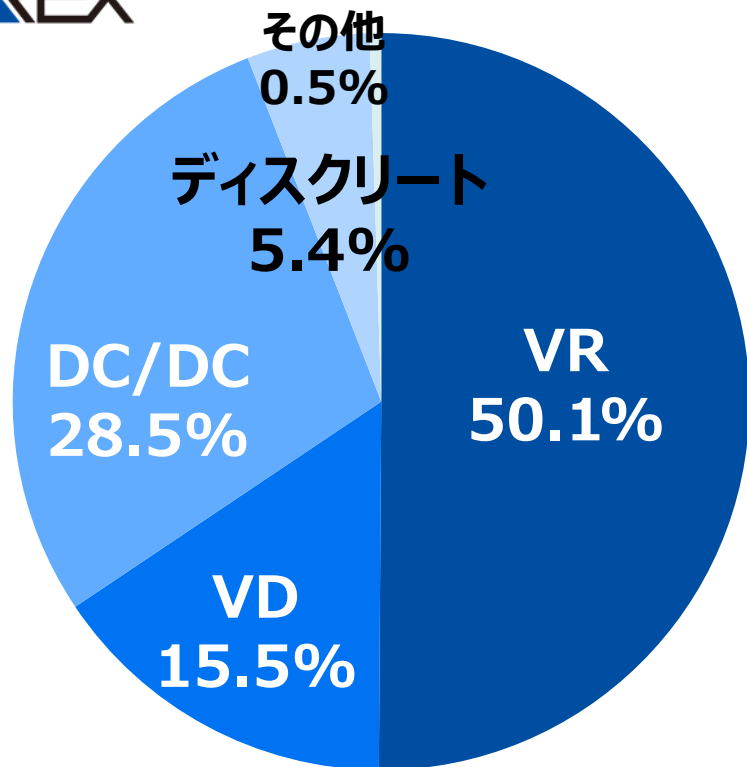


2020年度（中計）

産機 : 37.7%

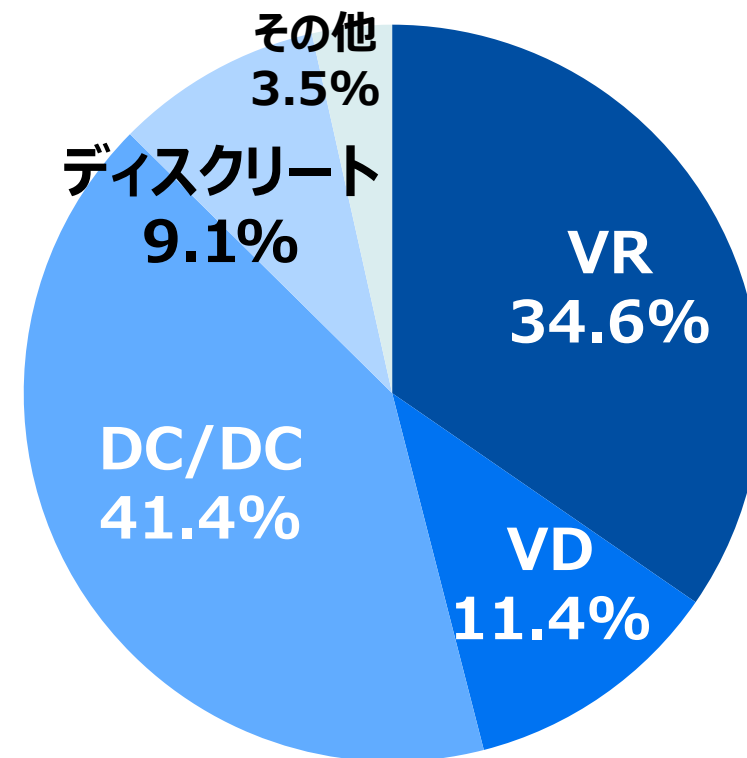
車載 : 19.2%





2017年度修正予想

DC/DC : 28.5%
ディスクリート : 5.4%

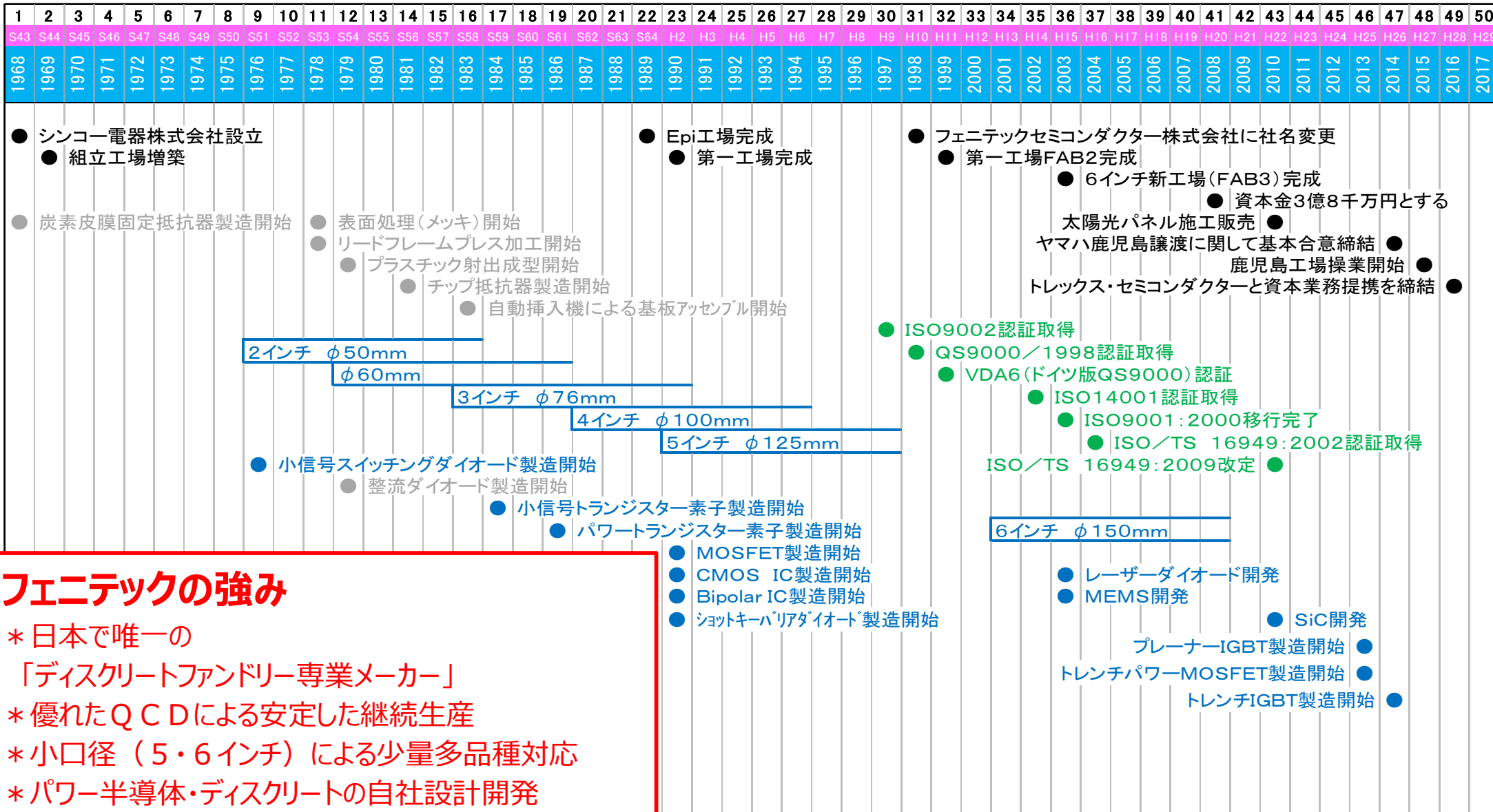


2020年度（中計）

DC/DC : 41.4%
ディスクリート : 9.1%

中期経営計画 フェニテック セミコンダクター

次の10年に向けて世界で認知される企業へ！



フェニテックの強み

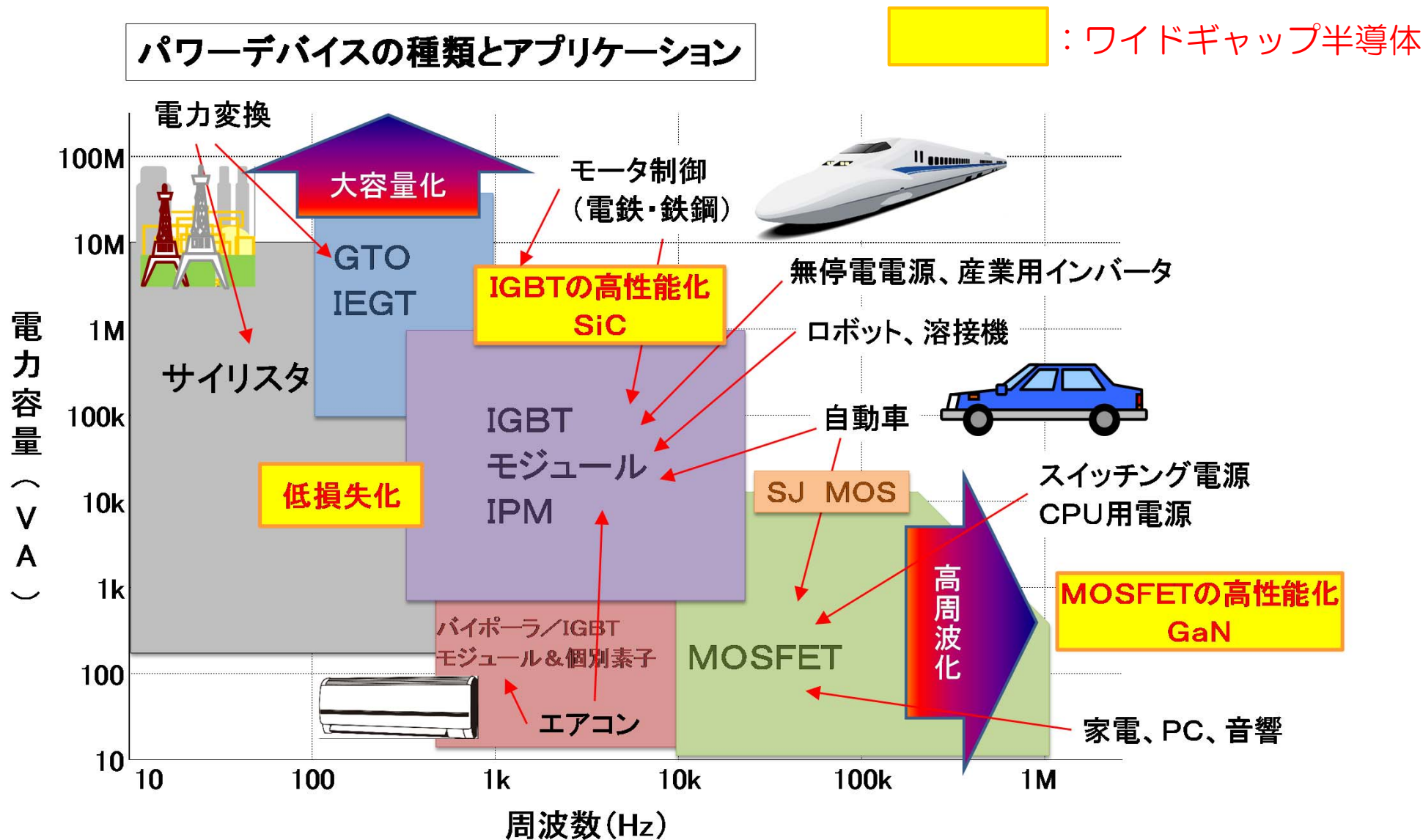
- * 日本で唯一の「ディスクリートファンドリー専門メーカー」
- * 優れたQCDによる安定した継続生産
- * 小口径(5・6インチ)による少量多品種対応
- * パワー半導体・ディスクリートの自社設計開発

ディスクリートを主とするファウンダリー専門メーカーとして国内外に広く、車載用・産業機器用に向けて拡販活動を行なう。

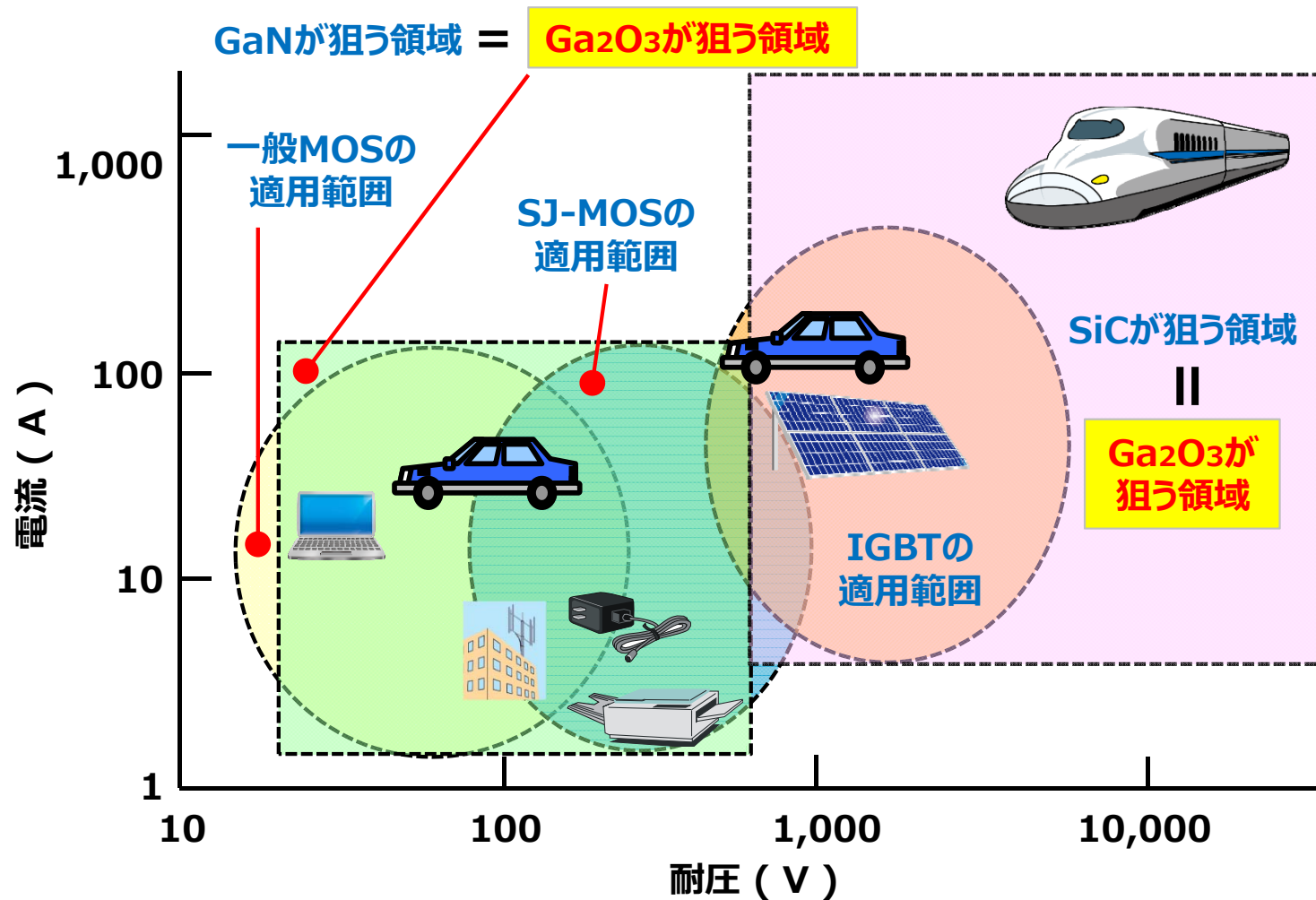
重要な取り組み

- ▶ **中・高耐圧パワーデバイスへの注力**
- ▶ **鹿児島工場の有効活用**
- ▶ **本社工場の統合**

シリコン系ディスクリートからワイドギャップ半導体までカバーします



SiC、GaN、Ga2O3など化合物パワーデバイスの開発



SJ-MOS、GaN の適用範囲



Ga2O3 : 両領域をカバー可能

- ・ 6インチ トレンチIGBT、SJMOS で他社と差別化
- ・ アナログ用CMOSプロセスで電源ICを他社と差別化



主な製品

- ・ CMOS
- ・ IGBT
- ・ Power MOS
- ・ その他



鹿児島工場

耐震、老朽化対策並びに生産性の向上を図るため既存棟増床及び新棟建設

- ・ 本社工場を第一工場へ統合
- ・ 5インチ→6インチ化で生産効率の向上
・ 収益を増加
- ・ 増設Fabで重金属加工も対応



株主還元

戦略的投資による成長力の向上を図りつつ、当社を取り巻く経営環境並びに中長期の連結業績及び株主資本利益率の水準を踏まえて実施していくことといたします。

中計最終年度の目標

- 連結配当性向 **20%**以上
- D O E（株主資本配当率） **3%**

本資料に記載された内容は、2017年11月16日現在において一般的に入手可能な情報と、合理的と判断する一定の前提に基づき、当社が作成したものです。

本資料に記載されている当社の中期計画、見通し等に関する記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものです。

実際の業績は、これらの要素により本資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。

投資に関するご決定をされる際、本資料のみに全面的に依拠することはお控えいただき、みなさまご自身のご判断でなされるようお願い致します。

Appendix 会社紹介

2014年4月にJASDAQスタンダード市場に上場、その1年後の2015年10月に東証二部に市場変更した、創業22年の半導体メーカーです。

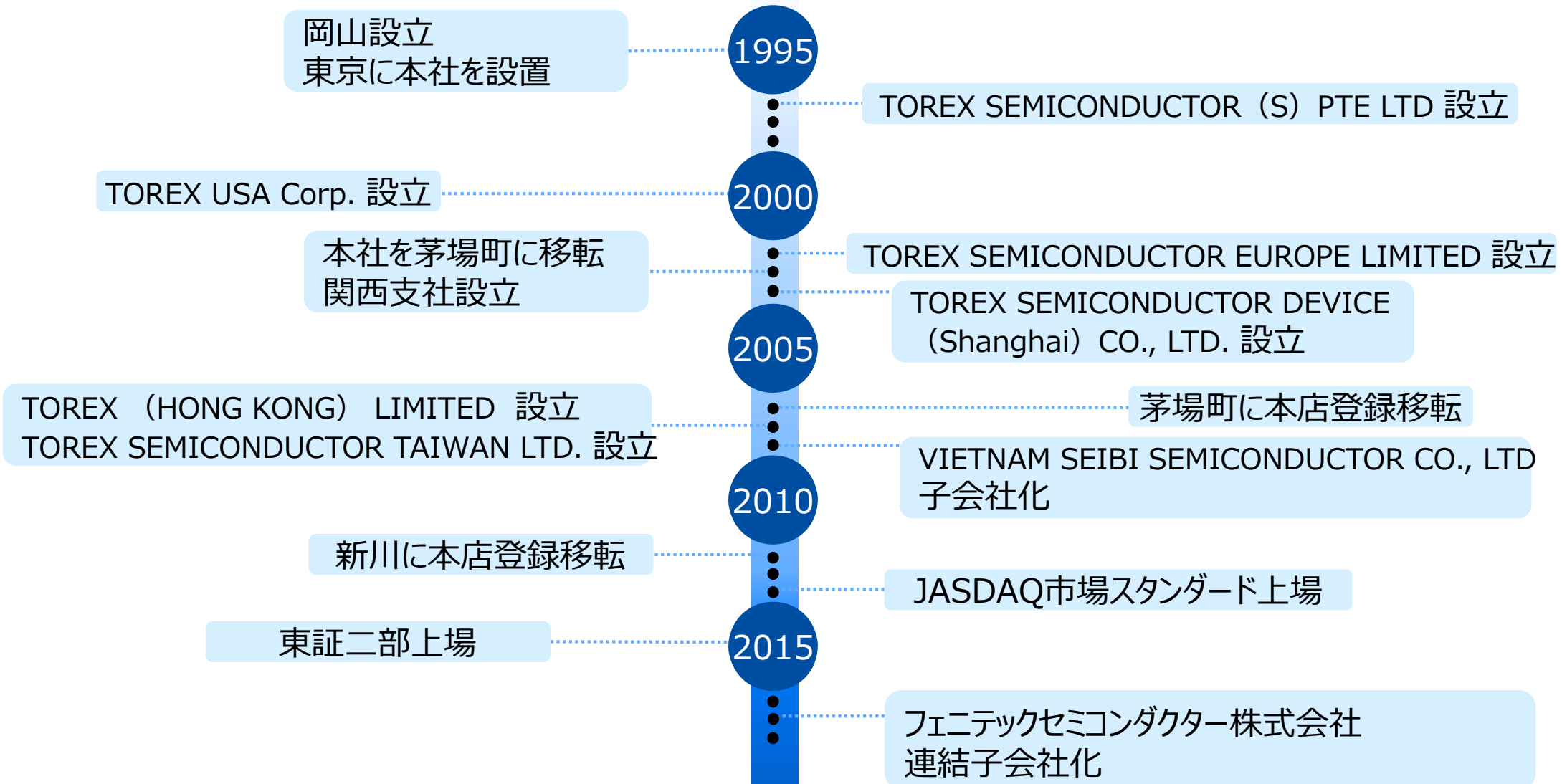
アナログのチカラ
ABOUT TOREX

所在地	東京都中央区新川1-24-1 エゾ新川永代通りビル
代表者	代表取締役会長 藤阪 知之 代表取締役社長 芝宮 孝司
資本金	18億3817万円（2017年9月30日現在）
事業内容	1.半導体デバイスの開発、設計製造 2.半導体デバイスの販売
従業員数	当社：165名 / グループ ^o ：986名
上場証券取引所 及び上場日	東京証券取引所 市場第二部 2015年10月15日
単元株式数	100株
決算期	3月末日
証券コード	6616
URL	https://www.torex.co.jp/

常に豊かな知性と感性を磨き、市場に適応した価値ある製品を創出し、豊かな社会の実現と地球環境の保全に貢献するとともに、私たちの事業に携わるすべての人々が共に繁栄することを企業の理念とする。



●電源IC一筋、**省電力・小型化**の技術でエレクトロニクス産業技術の発展に貢献してきました



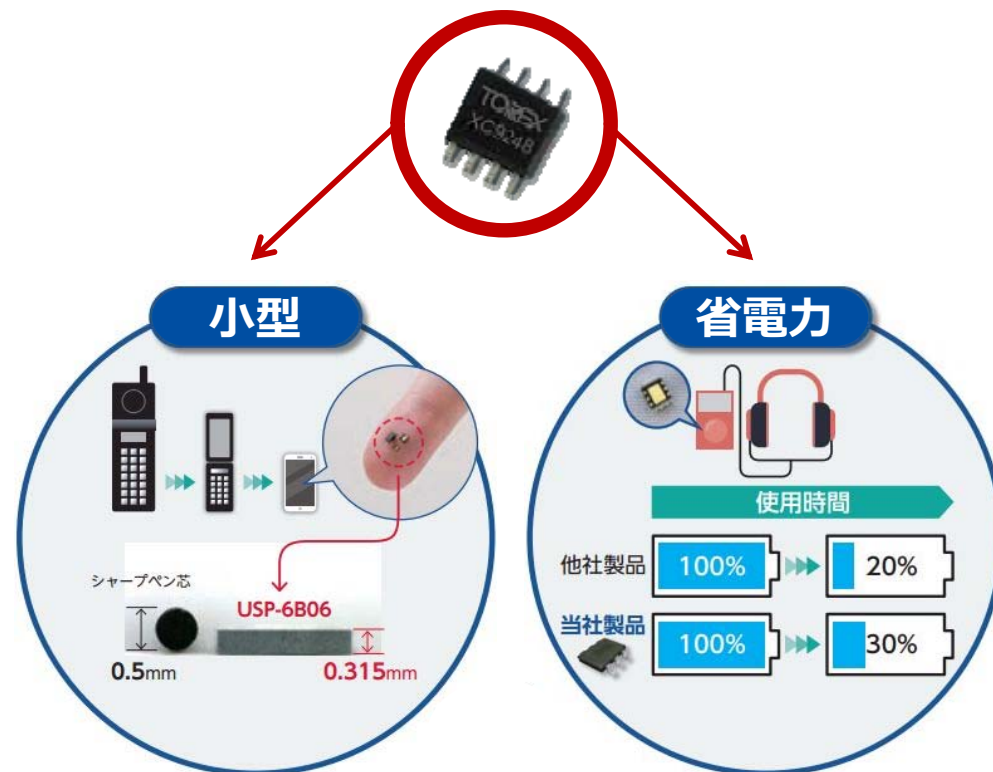
- 世界トップクラスの小型・省電力電源ICを開発・販売しています。

電源ICの役割



電子機器の様々な機能を動かすために
電圧を制御し安定供給する

TOIREXの電源IC



独自の技術で電子機器の
小型化、省電力化に貢献

- 国内に東京本社を含む 8 拠点、海外6カ国に8つの拠点を設け、世界の需要に対応しています。



Powerfully Small!

常に豊かな知性と感性を磨き、
市場に適応した価値ある製品を創出し、
豊かな社会の実現と
地球環境の保全に貢献するとともに、
私たちの事業に携わるすべての人々が
共に繁栄すること

